

# 広いお部屋にうるおいを与え、ニオイのない清潔でさわやかな空間をつくります。

## 設置が簡単。 スリムな据置きタイプ。

大勢の人が集まる場所は、空気の汚れやニオイが気になります。コロナノフィールなら、広いお部屋の空気を手間なく加湿し、きれいな状態に保ちます。



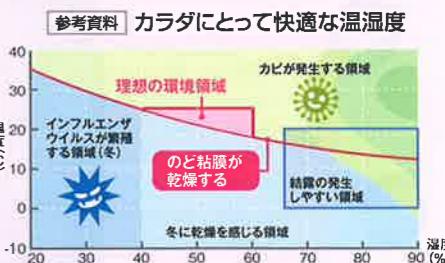
## お部屋が広く使って、じゃまにならない壁掛けタイプ。

コロナノフィールは1台で加湿・消臭・除菌・空清の四つの役割をこなします。しかも、毎日の給水や清掃の必要がないので、スタッフの負担を大幅に軽減します。



### 加湿 のどや鼻の乾燥を防いで快適に。

湿度が低いと、のどや鼻の調子が悪くなりがち。のどや鼻の粘膜の乾燥を抑えるには、40~60%の湿度が適切だと言われています。ナノフィールでお部屋を加湿し、快適な環境を保ちましょう。

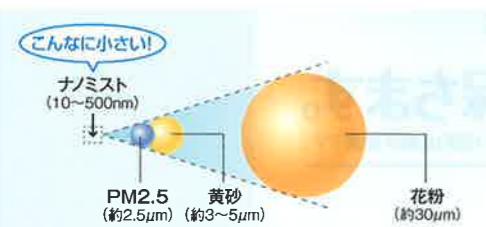


\*写真は試作品のため、実際の製品とは異なります。

## 1年中使えるnanofeeLのうれしい効果 —— 冬は加湿に、春～秋は消臭・除菌・空清に。

### 空清 1μm～3μmサイズの粒子を85%以上キャッチ。

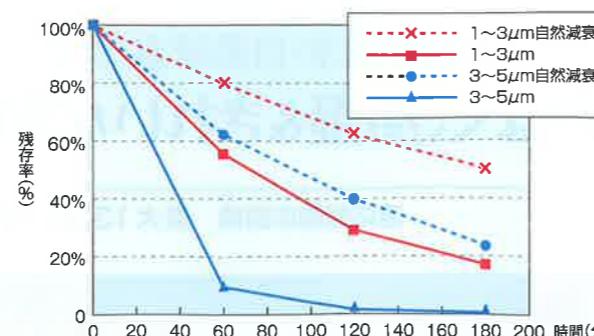
加湿器なのに花粉・黄砂・PM2.5にも。



#### ■粒子状物質の残存率

	PM2.5(1~3μm)	黄砂(3~5μm)
0分	100%	100%
60分	53%	10%
120分	28%	1%
180分	15%	0%

#### ■ナノフィール運転時の粒子状物質の残存率変化



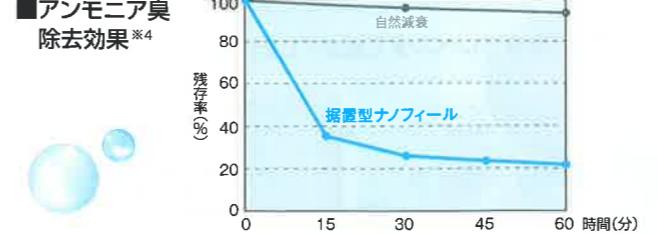
\*1 当社調べ \*2 実験方法:容積25m<sup>3</sup>の試験室(6畳相当)で試験用粒子状物質を散布し、自然減衰と運転時の各サイズの粒子数をパーティクルカウンターで測定。(当社基準)

\*3 水溶性のニオイ成分(アンモニア、酢酸など)  
\*4 当社調べ \*5 5.5畳相当の部屋にて試験。  
\*6 実験方法:アンモニア(濃度7%)の液体を扇風機の風に乗せるように、15回噴霧10分間扇風機により搅拌し、扇風機静止後5分間安定期間を設ける。初期のガス濃度をガス検知管により測定。試験器具の運転を開始し、15分間隔でガス濃度を測定。試験器具運転開始から60分後、最後のガスを測定し器具を停止。

### 消臭 気になるニオイをしっかり消臭。

空気中の気になるニオイをキャッチして消臭。アンモニア臭や台所の気になるニオイなど、毎日の暮らしの中で発生するイヤなニオイを除去します。

#### ■アンモニア臭 除去効果<sup>\*4</sup>

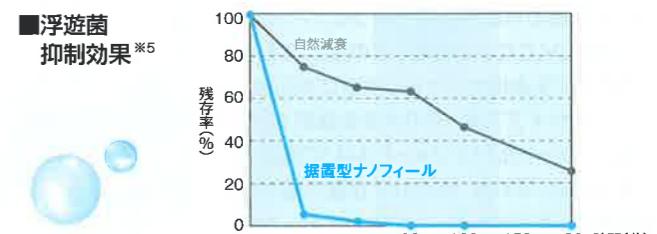


\*4 当社調べ \*5 5.5畳相当の部屋にて試験。  
\*6 実験方法:アンモニア(濃度7%)の液体を扇風機の風に乗せるように、15回噴霧10分間扇風機により搅拌し、扇風機静止後5分間安定期間を設ける。初期のガス濃度をガス検知管により測定。試験器具の運転を開始し、15分間隔でガス濃度を測定。試験器具運転開始から60分後、最後のガスを測定し器具を停止。

### 除菌 浮遊菌を抑制しお部屋を加湿。

ナノミストの水分子マイナスイオンは浮遊菌の抑制にも大活躍。さらに、寒い季節、体調を崩す大きな原因はお部屋の湿度不足。一般的のスチーム式加湿とは違い、コロナの超微細水粒ナノミストなら水ぬれ感のない快適な加湿を実現します。

#### ■浮遊菌 抑制効果<sup>\*5</sup>



\*5 試験機関:一般財団法人 北里環境科学センター  
\*6 実験方法:25m<sup>3</sup>試験チャンバー内に菌を噴霧して浮遊させた後、据置型ナノフィールを風量レベル3(約5.5m<sup>3</sup>)、加湿レベル1の条件で運転し、浮遊している菌の数を経時的に測定。  
\*7 報告書番号:北生発24\_0323\_1号